

科目名	解剖生理学Ⅱ		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		1年次	前期	30時間	1単位
科目設定理由	最近の医学と医療技術は急速に進化・発展し、社会とのかかわりはきわめて密接になり、医療に対する期待とニーズも大きくなってきている。解剖学と生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護師を含む医療専門職の教育においては最も重要な基盤（基礎）となるものである。そこで、個人の健康にかかわる人体についての知識や理解を深め、解剖学と生理学を融合させて人体の構造と機能を学習し、看護実践に活かすために当該科目を設定した。					
学習目標	人体の発生と構成する単位(呼吸系、泌尿器系、内分泌系)を学び、人体の構造を理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容			備 考	
1～6	3章 呼吸と血液のはたらき	1 呼吸器系の構造と機能			講義	
7～10	5章 体液の調節と尿の生成	1 泌尿器系の構造と機能			講義	
11～14	6章 内臓機能の調節	1 内分泌系の構造と機能 2 ホルモン			講義	
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学		坂井 建雄 他		医学書院	
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験等から総合的に判断する					